

山口県における肝炎ウイルス検査の実態と陽性者フォローアップへの取り組み

研究分担者：日高 勲 山口大学医学部附属病院 肝疾患センター
研究協力者：宮下 洋一 山口県 健康増進課
研究協力者：東 弘明 山口県 健康増進課

研究要旨：わが国には約 350 万人の肝炎ウイルスキャリアが存在すると推定されている。いまだに自身の感染を認識していない方への検査受検啓発、適切な受診に至っていない患者への受診勧奨が課題とされている。山口県では行政と拠点病院、肝炎医療コーディネーターが一体となって啓発活動を継続することより、肝炎ウイルス無料検査の受検数は 2013 年以降増加し、維持できていた。継続的な啓発は有用である。検査陽性者に対してはフォローアップ同意を取得しているにもかかわらず、現状調査では十分なフォローアップができていないことが判明した。2019 年からは受診票の改定を行い、フォローアップ同意と共に陽性者のその後の受診予定医療機関が把握できる予定であり、受診票変更の効果検証ならびに受診状況の把握を行っていく。

A. 研究目的

わが国には約 350 万人の肝炎ウイルスキャリア（B 型肝炎、C 型肝炎）がいると推定され（厚生労働省）、ウイルス肝炎は国民病であると記述されている（肝炎対策基本法前文）。肝炎ウイルス陽性者の中には、いまだに自身の感染に気付いていない方や感染を知っていても医療機関を受診していない患者が多く存在すると推測されており、現在、国を挙げて肝炎検査受検、受診促進の取り組みが行われている。

山口県では、拠点病院と行政が連携して受検啓発活動を行ってきた。さらに肝炎医療コーディネーターが積極的に啓発活動に参画して活動を盛り上げている。啓発活動の効果について検証する。

一方で、肝炎ウイルス検査陽性者が適切に医療機関を受診しているかどうかは十分に把握できていない状況がある。山口県では受検時にフォローアップ同意を取得しており、フォローアップ状況の実態調査を行うこととした。また、受診状況について、重症化予防事業の初回精密検査費用助成の利用状況などからも調査することとした。

さらにより効率的な受診状況把握の方法についても検討する。

B. 研究方法

受検啓発の効果検証

山口県が実施している緊急肝炎ウイルス検査事業および保健所無料肝炎検査（特定感染症事業肝炎ウイルス無料検査）と市町村で実施している健康増進事業による肝炎ウイルス検査の実施状況を調査する。

受診状況の実態と効率的なフォローアップ方法の確立

山口県では以前より、特定感染症事業による肝炎ウイルス無料検査受検時にフォローアップ同意を取得している。同意取得後のフォローアップの実態を県健康福祉センター（県内 8 施設）に聞き取り調査を行う。また、重症化予防事業にある初回精密検査費用助成、肝炎治療費助成制度の利用状況からも受診状況を実態調査する。さらに効率的なフォローアップの手法として受診票の改定についても検討する。

C. 研究結果

受検啓発の効果検証

山口県における肝炎ウイルス無料検査の受検者数(山口県+下関市)は2012年7543+203人、2013年7519+250人、2014年8719+196人、2015年7810+3340人、2016年7803+4509人、2017年7931+85人(2015、2016年度は下関では介入研究を行ったため、著増)であった。また、市町村で実施している健康増進事業による肝炎ウイルス検査の実施数(下関市を含む)は2012年1932人、2013年1877人、2014年1983人、2015年1995人、2016年1461人、2017年1318人であった(図1)。2013年以降検査数は増加し、その後も低下を認めておらず、継続的な啓発活動は効果的である。

図1 特定感染症事業および懸念増進事業における肝炎ウイルス検査の推移

肝炎ウイルス検査数の推移

	委託医療機関 (緊急肝炎)		保健所検査		健康増進事業
	県	下関市	県	下関市	市町
2012年度	7498	54	45	149	1932
2013年度	7472	55	47	195	1879
2014年度	8659	54	60	142	1983
2015年度	7776	3197*	34	123	1995
2016年度	7719	4421*	84	88	1461
2017年度	7905	28	26	57	1318

*本研究班、分担研究者での研究介入あり

受診状況の実態と効率的なフォローアップ方法の確立

山口県の特定感染症事業による肝炎ウイルス無料検査の受診票を図2に示すが、受検時に陽性者のフォローアップ同意を以前より取得している。検査陽性者のフォローアップ同意率は2016年度87.1%(陽性者85名、同意74名、非同意11名)、2017年度86.4%(陽性者66名、同意57名、非同意9名)と高率であったが、100%ではなかった。

各健康福祉センターにおけるフォローアップの実態について聞き取り調査を行った。各支所では対応が異なり、現在ヒアリング結

果を解析中であるが、県として決まった対応がなく、フォローアップは十分に行えていないのが現状である。

山口県における重症化予防事業の初回精密検査費用助成、定期検査費用助成の利用実績は2014年度 初回14件、定期4件、2015年度 初回11件、定期2件、2016年度 初回7件、定期5件と利用状況は低率であった。無料肝炎検査での陽性者における制度利用状況を確認したところ、2014年度は検査陽性者124名中 初回精密3名、治療費助成0名、2015年度は検査陽性者144名中 初回精密11名、治療費助成5名、2016年度は検査陽性者166名中 初回精密14名、治療費助成4名であった。初回精密検査助成制度の利用者が少ないため、正確な受診状況の把握は困難であった。

効率的なフォローアップの同意取得および実施について県と協議を重ね、受診票を改定することとした(図2)。無料検査の受検にはフォローアップ同意が必ず必要であることとし、また、陽性者についてはその後の状況について記載する欄(紹介先医療機関もしくは検査施行医療機関での精査の実施など)について新たに記載する欄を設けることとした。現在調整中であり、2019年4月以降に新受診票で検査を実施する予定である。

図2 特定感染症事業 肝炎ウイルス無料検査受診票

図3 無料肝炎検査陽性者における初回精密検査・治療費助成制度の利用状況

	HCV陽性	HBV陽性	初回精密検査	肝炎治療費
2014年度	68	56	3	0
2015年度	75	69	11	5
2016年度	78	89	14	4

※山口県における制度利用実績
 2014年度：初回14件、定期 4件
 2015年度：初回11件、定期 2件
 2016年度：初回 7件、定期 5件

D. 考察

山口県では、拠点病院と行政、さらには肝炎医療コーディネーターが連携して肝炎ウイルス無料検査の受検啓発活動を継続してきた。2013年以降、受検数は増加し、その後も検査数は維持しており、行政だけでなく、拠点病院を中心とした医療従事者も連携して啓発活動を継続することは有用であると考えられた。本事業における検査において、いまだに年間100名以上の新規陽性者が確認されており、受検啓発の継続はまだまだ必要であると思われる。

陽性者に対するフォローアップについては、山口県では受検時にフォローアップに対する同意取得を取得しているにもかかわらず、現状では十分なフォローアップが行えていないことが本年度実施した実態調査で明らかとなった。来年度より受診票を改定し、陽性者の医療機関が判明するため、県担当者から、紹介先医療機関に受診状況の確認が行えるようになる。効率的に受診状況の把握が行えると推察されるため、検証を継続し、さらなる受診状況の実態の解明と効率化につなげていきたい。

また、本研究事業で、協会けんぽ山口支部と連携し、職域における受検啓発も行っており、2019年度は職域検査での肝炎ウイルス陽性者に対しても初回精密検査助成制度が利用可能となるため、制度利用の普及にも努めていきたい。

E. 結論

行政と拠点病院が一体となった肝炎ウイルス無料検査の受検啓発活動は効果的であり、継続していく意義がある。一方で、陽性者に対するフォローアップについては、現状調査の結果、不十分であることが判明した。本研究により、行政担当者にフォローアップ必要性は理解されつつあり、効率的なフォローアップの確立を目指さず。受診票の改定が決まったため、来年度にその成果を報告する。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

1. 発表論文

なし

2. 学会発表

- (1) 日高 勲、坂井田 功「肝炎検査受検啓発と院内受診勧奨の取り組みと課題」第54回日本肝臓学会総会一般口演 **肝臓** 59 suppl(1), A472. 2018
- (2) 日高 勲、坂井田 功「肝炎検査受検啓発、受診勧奨の取り組みと効果検証」第22回日本肝臓学会大会ワークショップ16「HCV感染の根絶を目指すC型肝炎診療の現状と展望」**肝臓** 59 suppl(2), A644. 2018

3. その他

啓発資料

* 肝炎ウイルス受検受検啓発リーフレット「肝炎ウイルス検査をうけましょう」(別添え)

啓発活動

* 日高 勲：講演「チーム医療で取り組む肝炎受診啓発～肝炎医療コーディネ

ーターとともに～」

肝炎医療コーディネーター研修会 平成30年6月24日 主催:日本肝臓学会、
大阪市立大学医学部附属病院

*日高 勲:講演「肝炎医療コーディネーターとは」

平成30年度山口県肝疾患コーディネーター養成講習会 平成30年9月2日

主催:山口県

*日高 勲:講演「肝炎医療コーディネーターとは～肝炎医療コーディネーターの役割と山口県での活動紹介～」

鳥取県肝炎医療コーディネーター養成研修会 平成30年9月8,9日

主催:鳥取県、鳥取大学医学部附属病院

*日高 勲:講演「肝炎医療コーディネーターの役割～山口県肝疾患コーディネーターの活動紹介～」

平成30年度鹿児島県肝炎医療コーディネーター養成講習会 平成30年10月28日 主催:鹿児島県、鹿児島大学病院

*日高 勲:講演「山口県におけるHCV撲滅に向けた取り組み」

HCV Elimination Project Kick-off Meeting 平成31年2月21日 主催:

肝炎ウイルス研究財団、開催地:神奈川

*日高 勲:講演「肝炎医療コーディネーターとは～山口県肝疾患コーディネーターの取り組み～」

北海道肝炎医療コーディネーター研修会 平成31年3月17日 主催:北海道、北海道大学病院

H. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得
なし
2. 実用新案登録
なし
3. その他
なし